

今日の臨床サポート <http://j-poc.jp> 監修者からのメッセージ

▶ 実臨床の手順に沿ったフレームで書き下ろされたコンテンツ、優れた薬剤情報 武蔵国分寺公園クリニック 院長 名郷 直樹先生

臨床においては、診断、処方といった患者に提供する"答え"だけでなく、その答えを導くプロセスが大切です。

今日の臨床サポートでは、各疾患・症状のコンテンツが実臨床の手順に沿ったフレームで提供されており、答えを導くためのプロセスを知ることができます。さらにその根拠や、参考となる論文へのリンク機能も搭載されており、EBM を実践する上でも役立つツールだと思います。ウェブベースで提供されているため、常に最新の情報にアップデートされるというメリットもあります。

また、もう一つ特筆すべき点は薬剤情報です。疾患から薬剤を検索することができ、ジェネリックを含む日本の薬剤情報を網羅しています。薬剤情報については今日の臨床サポートがあれば不自由しないでしょう。



▶ 臨床のポイントを“数秒”で確認でき、多忙な臨床医に有用

独立行政法人 地域医療機能推進機構 研修センター長・総合診療教育チームリーダー 徳田 安春先生

今日の臨床サポートでは疾患、症状の概要、また検査や薬の処方例、禁忌や用法、用量、同効薬といった情報が確認できます。エビデンスも参照でき、PubMed や症例君といった外部のデータベースにもリンクされています。

臨床に必要な情報を“数秒”で確認できるので、忙しい臨床医にとって有用なツールではないでしょうか。また、診断アルゴリズムなどで楽しく理解できる構造になっているので、研修医にとっても有用なツールであると思います。

また、掲載されている患者さん向けハンドアウトを使うことで患者さんの満足度やアドヒアランスの向上にもつながると考えられます。



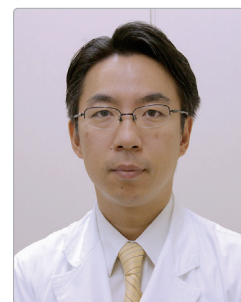
▶ 疾患に関する情報がコンパクト、且つ診療に役立つかたちにまとめられたツール

聖路加国際病院 アレルギー膠原病科 医長 岸本 暢将先生

開業医の先生方は、日々限られた時間で多くの患者さんを診ておられます。そのような状況下で、診療でやるべきことや、そのままオーダーに出せるレベルの情報、またご自身で診るべき範囲を線引きできるような情報は大変有用であると思います。

また、専門医の先生方にとっては他科の疾患を参照ツールとしてお使い頂けます。他科の疾患だからといって全てを任せるのではなく、自分である程度新しい情報を確認することで他の専門医の方々より高いレベルの連携が期待できます。

さらに、研修医の方々にとっては日常診療で最低限必要なことを把握できるだけでなく、その根拠も参照できるため、臨床スキルを高める有用なツールになると思います。



エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15 東麻布 1丁目ビル 3階

TEL 03-3589-6372

FAX 03-3589-6371

E-mail e_info@elsevier.com